

ダイヘングループ第7期環境自主行動計画 2022年度活動実績

会社目的	ステージ	方針	2022年度目標	2022年度活動結果	2022年度活動内容	自己評価	関連するSDGs
みんなの幸せ同時達成	マネジメント	環境マネジメントシステム(EMS)の改善	・ISO14001:2015年版の維持、改善 ・新規事業部の認証取得	2015年版の維持、改善	・内部監査:6月1日~7月22日 ・サーベイランス審査:8月31日~10月6日 (12月1日 登録更新認証[EMS事業部・充電システム事業部を追加])	○	  
		グリーン調達	・協力会社の環境活動推進 ・各社改善提案1件以上	環境活動のレベルを向上	・環境負荷の大きい19社の環境活動目標を設定 ・協力会社各社から改善提案を1件以上収集	○	
		環境リスクの低減	・産業廃棄物管理教育の実施 ・環境汚染防止教育の実施	関連法令の知識を向上	・産業廃棄物管理教育を実施(受講者30名) ・環境汚染防止教育を実施(受講者41名)	○	
	プロダクツ	環境配慮製品・事業の拡大	・環境配慮製品 事業売上構成比率79%以上 (新製品の環境設計目標値を設定)	構成比率 79.6%	・環境配慮製品:32機種(配電4、大形4、産電1、EMS1、充電2、FAロボット7、クリーンロボット4、溶接・接合5、プラズマ4) ・環境配慮製品売上高:111,453百万円 全製品売上高:139,988百万円	○	      
		サプライチェーンにおける地球温暖化防止(Scope3・カテゴリー11)	・CO2排出量原単位を2021年度比4%以上削減	削減率 6.9%	・Scope3(カテゴリー11) CO2排出量:6,997千t-CO2 売上高原単位:37.76t-CO2/百万円	○	
		CO2削減貢献量の拡大	・CO2削減貢献量を30千t-CO2以上	貢献量 22.2千t-CO2	・削減貢献量:大形19.6千t-CO2、産電1.9千t-CO2、EMS0.4千t-CO2、充電0.2千t-CO2 <CO2削減貢献量の算定方法> 再生可能エネルギーの創出量、化石燃料の削減量のCO2換算値を削減貢献量と定義 システム・パッケージの一部に当社製品が組み込まれている場合は、製品全体の価格に占める当社製品価格の割合を、全体の年間CO2総削減量に掛けて算出	×	
	プロセス	地球温暖化防止(Scope1+2)	・CO2排出量原単位を2021年度比4%削減	削減率 12.0%	・CO2排出量原単位:0.110t-CO2/百万円(CO2排出量:20,466t-CO2)	○	      
		生物多様性保全	・水使用量原単位を2021年度比6%削減 ・生物多様性保全の取り組み(事業所ごと)を実施	削減率 10.5%	・水使用量原単位:0.68m3/百万円(水使用量:126,490m3) ・事業所、工場周辺の清掃活動	○	
		廃棄物削減	・廃棄物排出量原単位を2021年度比3%削減	削減率 5.2%	・廃棄物排出量原単位:5.07kg/百万円(廃棄物排出量[有価物除く]:939.8t)	○	
		大気汚染防止	・PRTR指定化学物質大気排出量を2020年度比で悪化しない	削減率 29.5%	・PRTR指定化学物質大気排出量:54,575kg	◎	